

記者発表資料  
国土交通省 香川河川国道事務所

平成27年 7月 8日

## 水難事故防止に向けた出前講座

～小学生を対象にした出前講座を実施します。～

### 【目的及び内容】

香川河川国道事務所では、香川県・関係自治体・消防・警察組織と協力して「土器川水系水難事故防止連絡会」を組織し、土器川周辺への水難事故防止の取り組みを実施しています。その一環として、小学校への水難事故防止啓発を目的とした出前講座を実施します。

香川県での水難事故は、平成23～25年の警察庁統計資料によると毎年約20件ほど発生し、10名以上の方が亡くなられています。今年3月には5歳児がため池で亡くなる事故もありました。土器川でも平成25年8月に、急な増水のため中州に残され消防が救出する事故も発生しています。

水辺へ出かける機会も多くなる夏休み前に、小学生を対象にした出前講座を実施し、水辺の楽しさと怖さ、水辺に行くときの注意点、いざと言うときの対処法などを講義するとともに、プールで実技練習で体験してもらいます。

プールでの実技では、災害対策用の排水ポンプ車を利用し、プールに流れを作り、川の状況を再現する中で体験してもらいます。

【実施日時】 平成27年 7月10日(金) 10時～12時

【実施場所】 まんのう町立 琴南小学校  
仲多度郡まんのう町造田1984番地1

【内 容】 1. 講義 ○水辺の楽しさと怖さを知る  
○水辺の危険なところを知る  
2. プールでの実技  
○川に落ちた時の対処法（浮き方、流れ方）  
○ライフジャケット・スローバック（救助ロープ）体験  
（詳細は「実施計画書」参照）

【主 催 者】 「土器川水難事故防止連絡会」

### 問い合わせ先

（事務局）

香川河川国道事務所 Tel (087) 821-1561 副所長(河川) 弘田淳一 (内線204)  
工務第一課長 鎌田 卓 (内線311)  
◎建設監督官 藤沢義輝 (内線408)  
◎ 主たる問い合わせ先

# 水難事故防止啓発出前講座

(実施計画)

平成27年7月10日

国土交通省香川河川国道事務所  
香 川 県

## 1. 開催趣旨

平成19年7月に四万十川で2人、8月に仁淀川で1人の小学生が、また平成20年7月には神戸市の都賀川で5名（児童3名大人2名）が亡くなるという水難事故が発生しました。その他にも、全国の河川で毎年200名以上の方々が水難事故で亡くなっています。

海や川などの水辺は、本来、自然を学び野外活動を行う場として非常に優れたものですが、都市化の進行や生活様式の変化により、日常生活の中で水辺に接する機会が少なくなってきました。また、防災施設整備が進み水害が減少したことにより、川などの水辺に対する畏敬や恐怖心が薄れつつあります。

水難事故を防止するには、学校教育や社会教育等の中で、子供たちに川の面白さ等を体験を通じて教えると同時に、川の特性や危険を察知する能力・感覚を身に付けてもらうための啓発を推進する必要があります。

本講座は、地域の子供たちを対象に、川の楽しさを伝えるとともに、川の怖さを理解してもらい、万一水難事故に巻き込まれた場合に、危険を回避する能力を身につけていただくことを目的に開催するものです。

2. 講座内容 【講義】 ①水辺の楽しさと怖さを知る  
②川の危ないところを知る  
【実技】 ③もしもの時の対処法

## 3. 実施場所・日程

場所：まんのう町立 琴南小学校

日時：平成27年 7月10日（金）10時00分～12時00分

4. 講師 【講義・実技の指導】 国土交通省 職員  
【香川県の取り組み】 香川県 河川砂防課 職員

## 5. 時間割

10:00 挨拶、講師紹介 （体育館）

10:05 【講義】 ①川の楽しさと怖さを知る。

②川の危ないところを知る。

・水辺の危険な所、川に行くときの注意

・ライフジャケット・スローバッグの使い方

10:35 ■水難事故防止の香川県の取り組み

10:40 移動（プールへ移動 水着のうえに普段着を着衣）

10:50 【実技】 ③もしもの時の対処法

・自分が川に落ちたとき（浮き方、流され方）

・仲間が川に落ちたとき（助けを呼ぶ、救助時の注意）

・スローバックの投げ方・受け方の実習

11:50 まとめ挨拶

11:55 終了

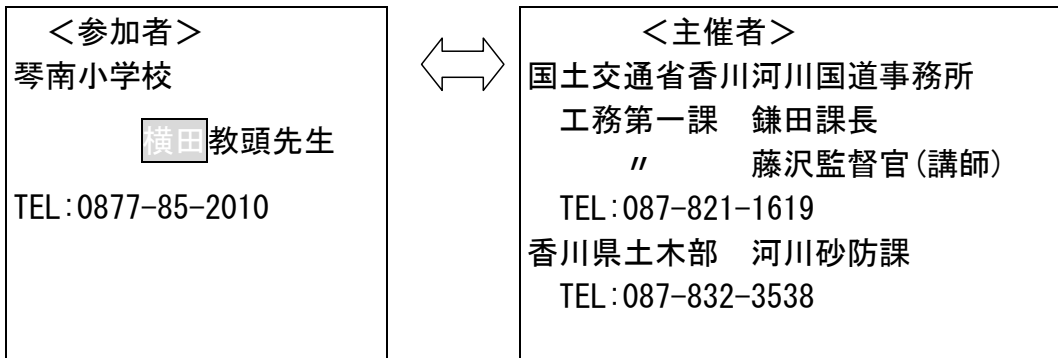
## 6. 参加者

まんのう町立 琴南小学校 4～6年生26名、先生3名程度

### ※ 小学校でご用意いただく物

- 1) 講義の実施場所（生徒人数より、教室か体育館）
- 2) 講義場所に長机1卓
- 3) 体験の場所（プール）
- 4) 生徒の着替え（服を着たままプールに入るため）
- 5) ペットボトル1.5～2.0L（生徒1本／人）

## 7. 実施体制



## 8. 緊急連絡体制

講座実施中に事故が発生しないよう万全の注意を払うが、万一事故が発生した場合は、以下の関係機関に速やかに報告を行う。

